

HIC通信

Vol. 103

January 2019

Hiroshima
International
Center



目次

P2 留学生が活躍する企業訪問
(第1回:良和ハウス)

P5 事業報告

交流部

留学生活躍支援センター

P9 コラム

Hello Hiroshima

イベント・講座案内

Upcoming Event News

P10 研修部トピックス

P11 JICALレポート

こちら JICA デスク



留学生が活躍する/ 企業訪問

(株) 良和ハウス



本日は外国人社員を積極的に採用されている(株)良和ハウスにお邪魔して、採用の理由や入社後の現状について、総務部の星野次長、国際営業チームの邢さん、吉本（チャン）さんにお話をお聞きしました。

1 貴社は、積極的に外国人を採用されているとのことですが、現在何人在籍されていますか。

星) 日本人の社員は約250名です。外国人の社員は中国人2人、米国人2人、ベトナム人1人、の3か国、5人です。

2 貴社が外国人を積極採用される理由は何ですか。

星) 邢さんの場合、当時中国人の方の入居希望者が増えてきたので中国語が話せて、自国の文化と日本の文化・環境

を知っている人の方が、入居に際しての説明などがスムーズですし、最近ではベトナムの方も増えてきたので吉本さんにも入社していただきました。吉本さんはベトナムからの技術研修生の取りまとめをされていました。

3 外国人を初めて採用されたのはいつからでしょうか。

星) 平成28年4月から採用を始めました。

4 外国人の採用方法はどのようなルートになりますか。

星) 新卒の場合には日本人と全く同じ方法で採用しています。書類選考と面接で採用していますが、面接を重視しています。中途入社の場合には紹介で採用しているケースもあります。吉本さんとアメリカ人の2名は紹介で入社しました。

5 外国人は採用後、どのような部署でどのような仕事をするのですか。また、他部署への異動等がありますか。

星) 採用の理由の一つは外国人のお客様の入居サポート体制をしっかりとすることですので、邢さん、吉本さんのお二人は店舗に入ってもらって賃貸仲介業務をしてもらって



邢佳琳（けいかりん）さん

います。

6 研修の方法は日本人と同じですか。

星) そうですね。新卒の研修は4月～5月の2か月間の集合研修を行っています。中途入社の方は各職場に配属し、OJTで実務を覚えてもらっています。

7 外国人を採用することで会社に何かメリットや波及効果はありましたか。

星) メリットは当然中国の方やベトナムの方の入居件数が増えていますし、管理会社としてのレベルもワンランク上がったと思います。日本人の対応だけでなく外国人の対応もできる会社として、英語圏の方は旅行等で広島を訪れられている方に、広島の良いところ等の情報発信をして広島に住んでもらえるように広報活動も行っています。

8 外国人と一緒に仕事をする上で、何か気を付けていることはありますか。

星) 皆さん優秀な方なので、普通に仕事をしてもらっていますから特に気を付けていることはありません。

9 外国人の処遇は日本人と同じですか。将来的な昇任、昇格についてはどのようにお考えですか。

星) 日本人と全く一緒です。

10 採用した外国人の定着率はどうでしょう。

星) まだ採用して3年目になったばかりですが、離職した外国人の社員は1名です。

11 日本の企業になぜ入社しようと思いましたか。

吉) 折角、日本まで来て勉強をしたのにベトナムに帰ってベトナムの企業に入ったら、これまで勉強したことが役に立たないと思いました。日本の企業に入って日本にいるベトナムの方の役に立てたらいいなと思ったし、日本人の仕事に対する考え方が好きで、特にサービス業で従事したいと思いました。卒業して5年間は技能実習生のサポート業務をしていましたが、転職のお誘いがあったので入社しました。

邢) 大学院を卒業した時に、中国に戻るか、日本で就職するか迷いました。中国に戻れば大学の先生になれましたが、中国人なのに中国の食べ物には少し不安があり、自分自身や家族のことを考えて日本に就職することにしました。良和ハウスに入社したのは、女学院大学に入学する時に別の不動産会社で部屋を探しましたが、外国人に対する差別を感じました。その点良和ハウスは外国人に対しての対応が良く、今後もさらにどの国の外国人にもより良いサービスを提供していきたいです。

12 外国人は就職しても5年ぐらいたら母国に帰る人が多いと聞きましたが、周りの方はどうなのでしょう。

邢) 中国人は帰国するよりも、自立するケースが多いと思います。

吉) ベトナムの人は帰国しても仕事がないので、帰国はしないと思います。就職した企業から「ベトナムに支社を作ったので行ってくれ」と言われれば帰国すると思います。

13 日本の会社に就職して困ったことや、ここは嫌だなと思うことはありませんか。

邢) 嫌なことはありませんが、営業なので敬語の使い方で間違ったらクレームが来ないか心配でした。

14 日本の企業だと残業があつたりしますが、どうですか。

邢) 中国の企業に就職したことが無いので…。

吉) ベトナムの場合には最近月末とか残業や休出するケースもありますが、残業代を払ってもらえるなら喜んで19時頃まで働いています。

星) 邢さんはお子さんが小さいので、在宅勤務をしてもらっています。ウイチャット（中国のチャット）を通じて中国の人とコミュニケーションを取って、来店・集客につなげてもらう活動をしてもらっています。

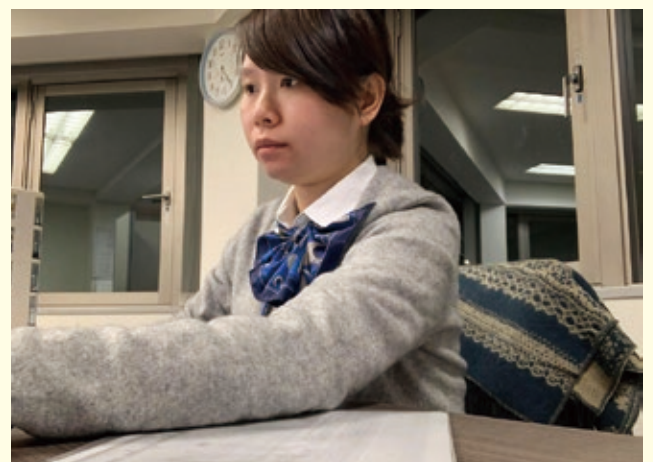
15 日本の企業は、アフターファイブでの飲みや、休みの日にレクリエーションとかがありますがどうですか。

邢) 逆に楽しいです。

星) そういった行事が一般的には少なくなってきましたが、当社では逆に増やしています。会社の経営理念でも大家族主義を謳っており、アットホームな社員は皆家族の考えです。福利厚生面からもイベントを増やしています。

16 今後の外国人の採用方針について、どのようにお考えですか。

星) 今後とも良い人がいれば採用していきたいと思っています。留学生の採用ももちろんですが日本語ができて、母国語ができることが条件です。日本語ができないと社内でのコミュニケーションが取れないので。



吉本 (チャン) さん

17 来春の外国人採用者はありますか。

星) 来春については現時点では内定者はいませんが、活動中です。

外国人の日本での住居探しについて



外国人が日本で住居を探す際にいろいろと困ることがあります。外国人がお部屋を借りる時の注意点等について(株)良和ハウスの皆様にお伺いしました。

1 来店されるお客さんはどこの国の方が多いですか。留学生ですか働いている方ですか。

- 邢) 中国の方は、技能実習生は少ないです。留学生とか日本に就職している方や、永住権をお持ちの方です。
- 吉) ベトナムの方は技能実習生と留学生が半々です。後は技能実習生の方も制度が変わって結婚して奥さんを連れてきてよくなり家族で来られる方もおられます。
- ア) 広島市内に約14,000人の外国人が住んでおられますが、そのうち、昨年300~400名の方が来店されました。中国やベトナムの方が多いのですが、私達は英語圏の方を担当しており欧州やアメリカ、オーストラリア、インドからたくさんの方が来られます。英語圏の外国人は働いている方が多いですね。

2 外国人からはどんな質問が多いですか。

- 邢) 皆さん分からないことが多いので、例えば連帯保証人がいないとか敷金の相談とかが多いですね。特に敷金の仕組みはしっかり説明しておかないと、「退居時に何故お金を払わないといけないか」とかクレームになることがあるので努力しています。幸いこの3年間はクレームがありません。連帯保証人についても、最近は外国人対応の保証会社があるので、そこを紹介しています。

3 外国人が日本で住居を借りる上で困ることは何ですか。

- ア) ①日本語が話せない。(店によっては断られます。)②保証人がいない。③敷金、礼金といった初期費用の考え方が、日本独自のルールで最初は理解できない。

4 どれぐらいの価格帯の物件を求められていますか。

- 邢) 単身の方だと、中国の方は25,000円~35,000円ぐらいが多いです。
- 吉) ベトナムの方は25,000円ぐらいが多いですが、ファミリータイプだと50,000円ぐらいの物件が多いです。
- ア) 英語圏の方は独身で1LDK50,000円~70,000円の価格帯が多いです。家族連れで3LDKの物件もあります。

5 日本との習慣の違い等で、過ごし方や生活上のトラブルやクレームがありましたか。

- 邢) 日本に来たばかりの男の子が友達とお酒を飲んで、深夜騒いで警察が来たけど日本語が分からなかったので、電話がかかってきたことがあります。
- 吉) ベトナムの人にはベトナム語で作成した説明書で、ゴミ出しルールや大きな音楽を流してはダメとか等を事前に説明はしますが、それでもゴミの出し方等でトラブルが起きたこともあります。その時はオーナーの方にお詫びの手紙を書いたりしました。
- ア) ほとんどありませんが騒いでクレームになることが、たまにあります。入居前にトラブルにならないよう説明しています。
- 星) オーナーの方にはサポートできる外国人がいるので、安心して任せてもらっています。

6 外国人が日本のアパートに住んで気を付けてほしいことは何ですか。

- ア) ゴミの捨て方です。燃えるゴミ・燃えないゴミ等のごみの捨て方、捨てる場所、捨てる日に気を付けてください。当社では入居時に説明と英語に翻訳したものをお渡ししています。

7 外国人が日本のアパートを退去する際に気を付けてほしいことは何ですか。

- ア) 日本の場合には原状回復が基本ですので、入居前に壁や床に傷や汚れが付きにくい方法をアドバイスしています。

8 外国人が住居探しをする際に何かメッセージがあればお願いします。

- ア) 当社では入居までの物件選びはもちろんですが、入居後のトラブルに対しても、多くの実績・経験を通じて、通訳やサポートをいたします。



写真左：Andrew A Gibler (アンドリュー・アラン・ギブラー) さん
写真右：David M Llata (デビッド・マシュー・ヤッタ) さん

交流部

Report 1 「平成30年度 多文化共生テーマ別研修会」開催の報告

平成30年度多文化共生テーマ別研修会を開催しました。この研修会は、県内の各市町や市町国際交流協会で多文化共生の業務に従事されている職員や相談員の方等を対象に実施している研修です。今年度は以下のテーマで2回開催し、参加者からは、理解を深めることができた、今後の取組に活かしたい等の感想をいただき、大変有意義な研修会となりました。



第1回テーマ別研修会

日 時：平成30年9月26日（水）13:30～16:30
 テーマ：「ユニバーサルデザインの観点から考える『まちづくり』
 —多文化共生社会実現のための行政の役割とは？—」
 講 師：静岡文化芸術大学 副学長 文化政策学部 教授 池上 重弘 氏

第2回テーマ別研修会

日 時：平成30年12月10日（月）13:30～16:30
 テーマ：「外国人児童生徒の教育課題と支援策」
 講 師：大阪教育大学 教育学部 准教授 白井 智美 氏

交流部

Report 2 「国際フェスタ2018」に参加しました

11月18日（日）、広島国際会議場（広島市中区）にて「国際フェスタ2018」が開催されました。このイベントは、在住外国人を含む参加市民に国際交流・協力活動に親しみ、関心を高めてもらうことを目的に、公益財団法人広島平和文化センターが主催し、独立行政法人国際協力機構（JICA）中国センター、公益財団法人ひろしま国際センター、広島市が共催して行っております。

当センターは、昨年に引き続き、JICA中国、青年海外協力協会と一緒に「地球ひろば」を出展しました。

当センターが運営した、「外国の人とお話しよう」コーナーでは、学生や子どもたちが、ボランティアの外国人の方々と楽しくお話をする様子が見られ、終日賑わいました。

また、今年は新しい企画として留学生による中国茶の提供や国際交流員による津軽三味線の演奏、外国のゲームを行い、皆様に楽しんでいただきました。



交流部

Report 3 平成30年度 留学生奨学金授与報告会及び交流会を開催しました

12月11日（火）にホテルセンチュリー21広島にて平成30年度奨学生交流会を行いました。この交流会は、奨学金受給者と協賛企業・団体との交流の促進を目的として毎年開催しています。

今年度は平成30年7月豪雨の影響により7月の授与式が中止となったため、交流会に先立ち、授与報告会を行いました。今年度の奨学金支給実績を報告し、また、長年、奨学金事業のためにご支援いただいている企業・団体に感謝の意を表し、感謝状を贈呈いたしました。続いて開催された交流会では、留学生、協賛企業・団体の関係者及び大学関係者の皆様合わせて120名を超える参加者が一堂に会し、奨学生が母国の紹介や将来の目標等について語り、改めて支援に対するお礼を伝えていました。ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。



交流部

Report 4 「ボランティア通訳ガイド講習会」を開催しました



2018年10月13日（土），ボランティア通訳ガイド講習会を開催し，41名の方にご参加いただきました。今年のテーマは「鞆の浦～日本を代表する港町の景観～」。

（一社）ひろしま通訳・ガイド協会の畝崎雅子先生を講師にお迎えし，鞆の浦の紹介やガイドする際のポイントや，英語の効果的な学習法，経験豊富な先生のエピソード等を楽しく，またフランクにお話いただきました。質疑応答では，参加者の方から英語の発音等についての質問をいただき，とても詳しく丁寧にお答えいただきました。

参加者の方からは「鞆の浦の知識を増やすことができ，英語学習のアドバイスもいただけて有意義な時間でした。」
「実践的な街の歩き方がわかってためになりました。」などの感想をいただきました。

本講習会が，ご参加いただいた皆様それぞれの感性を生かした広島のさらなる魅力発信に繋がれば幸いです。

交流部

Report 5 「ジョブフェア・オン・キャンパス」及び「留学生合同企業説明会」を開催します。

「ジョブフェア・オン・キャンパス（広島会場）」は，2月15日（金）にサテライトキャンパスひろしまで開催します。企業向けセミナー（13時～15時）では，基調講演「高度外国人材の採用・定着の手法と留意点」（ジェトロ 綾戸高志氏）と，留学生の採用・活用事例の報告（㈱システムフレンド岡本敏秀氏）があります。留学生向けの「企業別業界研究会・留学生OB・OG交流会」等（14時～17時30分）では，20社程度の企業が参加し，元留学生との交流会もあります。「平成30年度留学生合同企業説明会」は，3月9日（土）13時～16時，広島国際会議場で開催します。45社程度の企業が参加予定です。参加希望者は，いずれもホームページからWEBなどで申し込んでください。

交流部

Report 6 HIC医療通訳ボランティア派遣事業の運用開始

公益財団法人 ひろしま国際センター（以下「HIC」という。）は，日本語に習熟していない外国人住民等の皆さんが，安心して医療・保健サービスを受けられるよう，医療機関及び保健機関（以下「医療機関等」という。）への医療通訳ボランティアの派遣を始めました。

1.対応言語

英語，中国語，ベトナム語，タガログ語，スペイン語

2.通訳内容（ボランティアの活動範囲）

受付，診察，検査，会計，病室，薬局（概ね100m以内の院外薬局も対象）など

3.通訳の派遣依頼者及び派遣先

HIC医療通訳ボランティア派遣事業の趣旨等に賛同する医療機関等。なお，外国人住民等の個人からの派遣依頼は受け付けません。

※「利用できる医療機関等」は，HICのホームページに掲載しています。

4.依頼手続き

- ①患者や保健サービスを受ける者である外国人住民等の同意が必要です。
- ②派遣日の5日前（HICの休日を除く）までに，派遣依頼書をHICへ提出。緊急の場合でも，可能な範囲で対応します。

5.通訳派遣に係る費用

医療通訳ボランティアに対する協力金及び医療通訳ボランティアの交通費相当額

※平成31年3月31日までは，HICが費用の全額を負担します。

6.平成31年3月31日までの派遣対象機関

広島市内の医療機関及び広島市内・廿日市内の保健機関

7.通訳派遣依頼の受付時間

午前9時から午後6時まで（HICの休日は除く。ただし，土曜日は午前9時30分から午後6時まで）

8.詳しい情報

HICのホームページの『医療通訳ボランティア派遣』に掲載しています。

Report 7 「竹原フィールドワークツアー」を開催しました

2018年11月23日（金）、竹原市において「竹原フィールドワークツアー」を開催しました。県内の外国人留学生、日本人学生、竹原市民の総勢88名が参加し、町並み保存地区や商店街を回りました。

グループごとに13個のミッションが用意されており、クリアすると点数が加算されていきます。例えば、「お抱え地蔵を抱えて動画を撮ってください」や「ももね様を10匹見つけて写真を撮ってください」など、竹原市内をよくよく探索しなければ分からないものばかり。ですが、驚くことにどのグループもほとんどのミッションをクリアしました。他にも、竹原の「1番のおすすめスポットは?」「こうしたらもっとよくなる!」について、プレゼンテーションをしてもらいました。（これも得点に加算されます）

優勝グループには賞品として、竹細工体験チケットと竹ブローチのプレゼント。そして参加者全員に、竹原限定のユニークな缶バッジと手作りの楊枝入れをいただきました。ちなみにこの缶バッジは竹原市内に設置された「竹原ガチャ」で手に入れることができます。



インスタ映えスポット照蓮寺のイチョウの木

大変盛り上がったこのイベントの様子は、ひろしま留学大使がFacebookでレポートしてくれていますので、ぜひご覧ください。

最後になりましたが、町並み保存地区の皆さま、商店街の皆さま、参加いただいた竹原市民の皆さま、そして何より竹原市企画振興部産業振興課の皆さま、ご協力誠にありがとうございました。



観光案内所の前で決めポーズ



プレゼンテーションの様子



優勝はAグループ

お知らせ

今回竹原市で開催いたしました「留学生と地域住民との交流事業」は来年度も実施を予定しています。ご興味をお持ちの自治体の方がおられましたら、ぜひお問合せください。よろしく願いたします。



問合せ先：広島県留生活躍支援センター
TEL：082-541-3781
E-mail：office@int-students-hiroshima.jp
ひろしま留学大使Facebook：@hsaa2014 ▶



Report 8 就職活動実践セミナー開催中です (広島 1月12日, 20日, 2月3日 / 東広島・福山: 1月13日)

外国人留学生を対象とした「就職活動実践セミナー」を開催しています。全部で4回のセミナーで、日本で就職するためのスキルを身に付けます。プログラムは、自己分析、企業分析、応募書類の書き方、面接対策、そして在留資格の変更についてなど。1回のセミナーは、ほぼ丸1日かけて行われるためかなりハードではありますが、多くの留学生が真剣に取り組んでいます。

就職活動解禁となる3月まであと少し。希望する企業の内定を獲得するため、留学生の皆さん頑張りましょう!! 追加申込受付中です。



※写真は昨年度の様子です。

留学生生活支援センター

Report 9 「留学生による伝えるHIROSHIMAプロジェクト」を開催します!

広島県外にお住いの外国人留学生の皆さん。平和記念資料館・平和公園の見学や被爆体験者からの講話を聞き、平和について一緒に考えてみませんか? 広島名物「お好み焼き」の手作り体験にもチャレンジしたり、マツダミュージアムへも見学に行きます。

この機会に、広島の歴史や文化に触れ、全国から集まる仲間や広島の学生たちと一緒に交流してみませんか?

開催日: 2019年3月13日(水)~3月15日(金)

参加費: 8,000円(2泊分の宿泊費と5回分の食費を含みます。)

定員: 50名程度

詳細はこちら▷ <https://goo.gl/ZyyChV>

併せてこのイベントに参加し、お手伝いをしてくれるボランティア(県内外国人留学生, 日本人学生)を募集しています。

詳しくはこちら▷ <https://goo.gl/Q4CXNm>



交流部

Report 10 「ジョブフェアオンキャンパスin東広島」を開催しました



11月30日(金)に、東広島芸術文化ホールくららにて、企業向けの「グローバル人材活用セミナー」と、留学生向けの「留学生就職活動セミナー」および「業界研究会・交流会」を開催しました。「グローバル人材活用セミナー」では、株式会社ディスコの迫洋子氏、株式会社タケウチ建設の竹内謹治氏から講演をいただき、企業や学校関係者など約60名の方に参加していただきました。「留学生就職活動セミナー」では、マツダ株式会社の小栗栖康正氏、株式会社ディスコの杉川支社長に講演をしていただき、約90名の留学生が熱心に耳を傾けていました。その後の「業界研究会・交流会」では、県内企業16社がブースを出展し、主要業界の企業担当者と留学生が交流を図りました。ご参加していただいた皆様、誠にありがとうございました。

交流部

Report 11 「外国人留学生交流会inひろしま国際センター」を開催しました

2018年10月20日(土)に外国人留学生を対象とした交流会をひろしま国際センターで開催しました。広島県で外国人留学生が受けられるサポートについて知ってもらうこと、県内の留学生同士が仲良くなってもらうこと、ひろしま国際センターの場所がどこにあるのか知ってもらうこと、を目的とした今年度からの新規事業となります。当センターは広島市内にあるため、市外に住む留学生たちにとっては訪れる機会があまり無いことから、ひろしま国際センターで開催することとなりました。

県内の留学生43名が集まり、前半はガイダンス、後半はクイズやゲームをして盛り上がりました。クイズの中には「広島県の留学生は現在何人でしょうか?」という難問も! 一見難しそうなお題ですが、実は前半のガイダンスをよく聞いていれば答えがわかる、といういわゆる問題なんです。

学校を超えて留学生が交流する機会はそんなに多く無いので、このようなイベントで留学生同士が仲良くなり、広島での留学生生活をより楽しんでもらえる大変嬉しく思います。

留学生に楽しみにしてもらえる事業になることを目指して、来年度実施に向けてブラッシュアップして参ります!



ジェスチャーゲームの様子

Hello Hiroshima

Vol.103 January 2019



Immigration on the menu Daniel Mackey

Excepting the indigenous peoples, my home country of Canada was founded by immigrants who at first emigrated mainly from France and then England, but were followed later on by immigrants from all over Europe and many other parts of the world. I think that this factor, as well as the fact that Canada is still a relatively new country with a history of only 151 years since its founding in 1867, helps to explain why the country has until now been so open towards and welcoming of new immigrants.

Another major factor is, of course, the more recent issue of a low birthrate and aging population, a serious societal problem that is shared among many developed nations, particularly evident in Japan, and for which there is perhaps no simple solution yet outside of increasing the number of immigrants to fill important labor shortages and keep the economy vibrant. Now, almost 22% of the total Canadian population is composed

of foreign-born immigrants, the majority of whom come from Asia, particularly India and China.

In Japan, the issue of immigration has once again come to the forefront recently as the government has passed a plan to amend the Immigration Control Act that will make it easier, in particular, for unskilled laborers to live and work in Japan.

Compared to Canada, Japan is a nearly homogenous country with a very distinct culture and language that has long resisted any kind of full-blown immigration system, so I can understand why many might be hesitant at the prospect of major changes to the immigration act.

That being said, Japan's low birthrate and aging population have already reached an advanced stage that, in consequence, require immediate counter-measures to solve the problem of growing chronic labor shortages already being felt in areas like agriculture, construction, shipbuilding, healthcare and manufacturing. Hopefully, Japan will be able to find a suitable balance between immigration, downsizing, increasing worker productivity and the use of AI to prevent major economic shrinkage while at the same time preserving its unique culture and customs.

Upcoming



Event News



第16回国際交流フェスタinくれ

今回は「つながろう この呉の下で」をテーマに色々な国の人と文化が集合！外国人とのおしゃべりやものづくり、飲食で異文化体験のできるたくさんのブースと、外国人の日本語スピーチや華やかなダンスなどを楽しめるステージプログラムがあります。最後には抽選会も。ぜひお越しください！

日 2月10日(日) 時 13:00~16:00 場 呉市役所1階 費 無料 定一
問 呉市国際交流協会
Tel:0823-25-5607 mail:kure-ies@eagle.ocn.ne.jp

ゆにひろカフェ

ユニセフボランティアが知識を深め、出前講座の技術を向上させる場として年2回程度開催している「ゆにひろカフェ」。今回は最近よく耳にするようになったSDGsの入門編として、どなたにもわかりやすい内容で開催します。お気軽にご参加ください。お茶とお菓子を用意しています。

日 3月16日(土) 時 14:00~16:00
場 広島県ユニセフ協会事務所 中区本川町2-6-11 第7ウエノヤビル5F
費 無料 定25名
問 広島県ユニセフ協会 担当者:高田 和美
Tel:082-231-8855 mail:unicef-hiroshima_06@theia.ocn.ne.jp

縮景園を英語でガイド

「縮景園」を英語で案内することができるようになることを目的とした講座です。広島をガイドするために必要な基礎知識を日本語・英語で学びます。

日 ①1月22日(火) ②1月27日(日) 時 ①18:30~20:30 ②13:00~16:00
場 ①JMSアステールプラザ ②縮景園 費 無料(縮景園の入園料は実費負担) 定 先着20名
問 広島市国際青年会館(JMSアステールプラザ内) 担当者:林谷(ハヤシダニ)
Tel:082-244-8000 mail:hiyv@hiyh.pr.arena.ne.jp

フランス文化講演会

演題:「フランスで心臓手術をするということ」
講師:渡邊正済氏(医学博士 広島大学病院 心臓血管外科)
内容:フランスはフォンタンやカルパンティエなど心臓外科医に馴染みのある医師を多く輩出しています。ボルドー大学附属病院に留学した経験を踏まえ、フランスの医療事情や外科医の育成システムについてお伝えできればと思います。

日 1月19日(土) 時 14:00~15:30
場 広島市中区中町6番30号 広テレプラザ6F 広島日仏協会
費 無料 定一
問 広島日仏協会 担当者:西澤
Tel:082-569-5450 mail:sfjhiro@crocus.ocn.ne.jp

交流パーティー

海田町国際交流協会では、国際理解と交流を目的としてパーティーを開催します。海田町と近隣の在住在勤の外国人の方に広く参加していただきたく、お菓子や飲み物を準備してお待ちしています。

日 1月27日(日) 時 14:00~16:00
場 海田町福祉センター1階多目的ホール 費 無料 定 特になし
問 海田町国際交流協会 担当者:沼 静香
Tel:082-823-7611 mail:kokusai2@ms13megaegg.ne.jp



ひろしま国際センター研修部では、国際研修や国際交流、異文化理解などに関する多種多様なプログラムを担っており、その数は年間150近くになります。この中から、昨秋実施した3つのプログラムを紹介します。

その1 外国人のための東広島バスツアー

10月20日（土）に、外国人のための東広島バスツアーを実施しました。

東広島市に住む外国人が、普段訪れる機会のない場所を訪れ、自分の住む地域の新たな魅力に気づき、発信してもらうため、毎年実施しています。

今回参加した外国人は21ヶ国40人で、豊栄町のリンゴ園、高屋町白市の町並み、河内町の山陽自動車道小谷サービスエリア（SA）を訪れました。晴天の下、リンゴ狩りやSAでの買い物体験、白市では町並み見学のほか地域のひととの交流を楽しみました。



バスツアー参加者の皆さん



その2 世界まるごと体験デー

11月3日（土）に、ひろしま国際プラザ（東広島市鏡山）において「世界まるごと体験デー」を開催しました。

地域の皆さんが、ひろしま国際プラザに滞在する外国人研修員や留学生との交流、海外の様々な文化の体験を通じて、異なる文化や習慣を理解する契機とするために、毎年、開催しています。

今回は、約40人の外国人研修員・留学生と37人の日本人ボランティアの協力を得て、メキシコの死者の日のお面作りやアフリカのマラウイの遊び、世界の言語で名刺作りなどの活動を実施しました。約300人の地域の皆さんが訪れ、多彩な交流が行われました。



研修員や留学生のお国の言葉の文字で名刺を作りました



メキシコの「死者の日」にちなんだガイコツのお面を作りました

その3 立命館アジア太平洋大学（APU）広島ピースツアー

APUの学生48人（うち外国人留学生16の国・地域の41人）が、ひろしま国際プラザに11月9日（金）から2泊しました。

彼らは、「折り鶴アート」を全員で手作りし、浴衣の着付けを体験した後、広島平和記念公園を訪問し、公園内の原爆の子の像に「折り鶴アート」を捧げました。その後、交流部（広島市中区中町）の交流ホールに移動し、広島の大学生12人が加わって、一緒に「あなたにとって平和とは？」などをテーマに英語で議論しました。

APUの学生たちは、昨秋の新入生です。広島訪問により、世界や自国の平和について見つめ直し、平和への視野を深めるきっかけになることを期待しています。



「折り鶴アート」作成中

平和について広島の大学生と議論しました



広島から世界へ! いつか世界を変える力になる!

広島から世界へ!2019年1月上旬より、
広島県出身のJICA海外協力隊2名が世界へ向けて出発します!



■現在赴任中の広島県出身 JICA海外協力隊 (名)

区分	男性	女性	合計
青年	18	20	38
シニア	9	1	10
日系青年	1	0	1
日系シニア	0	0	0

2018年10月31日時点

<JICA海外協力隊>

「自分の持っている技術・知識や経験を開発途上国の人々のために活かしたい!」という強い意欲を持つ20歳~69歳の日本国籍を持つ方が対象のボランティア事業です。

派遣は原則2年間。衣食住を現地の人とともにしながら、互いに理解を深め、同じ目線で途上国の課題解決に取り組みます。また、帰国後も現地での経験を日本の地域や世界の発展に役立てることが期待されています。

そんな草の根レベルのボランティアに、あなたも参加してみませんか!?

帰国隊員レポート ~ジンバブエ共和国篇~

大岡 沙織さん



ジンバブエ共和国

アフリカ大陸南部に位置する共和制国家

【概要】面積：386,000平方キロメートル

人口：1,560万人

首都：ハラレ

公用語：英語、ショナ語、ンデベレ語

宗教：キリスト教、土着の伝統宗教

現地での活動内容

ジンバブエの首都にある、肢体不自由・聴覚障がい・視覚障がい・知的障がいなどの障がいがある子どもたちが通う特別支援学校で、図工や体育、音楽など、情操教育の授業を実施していました。それに加えて、授業のアイデア出しや、現地の教員と共に、授業の改善を行うこともわたしの活動内容です。ジンバブエにある材料で、お金があまりかからず、障がいがあっても子どもたちが楽しみながら取り組める授業づくりや、現地の教員にとっても分かりやすく実施可能な授業について、教員向けにワークショップを行ったり、イベント開催などもしていました。



▲学校の様子



▲教員向けワークショップ



▲日本との作品交流

ジンバブエってこんなところ!



▲図工後の片づけの様子

1980年にイギリスから独立した国ジンバブエ。英語が公用語として使われているのと同時に、ショナ語やンデベレ語といった、複数の民族の言葉も使われています。アフリカと聞いて暑い国だと思ってしまう方も多いと思いますが、実は標高がおよそ1200mと高いため、穏やかで過ごしやすい気候なのです。人々はとてもフレンドリーで、音楽がかかると踊りだす、そんな愉快で明るい雰囲気もジンバブエの一面です!

ジンバブエの食事

食パンやパスタ、お米も食べますが、特徴的なのがジンバブエの主食。「サザ」と呼ばれ、トウモロコシの粉をお湯で練ったものです。葉野菜を油で炒めたものや、牛肉や鶏肉をトマトベースのスープで煮込んだものを付け合わせにするのが一般的。サザ自体には味はあまりないので、濃い目に味付けされた付け合わせの野菜やスープを、サザと一緒に手で口へ運びます。学校の給食でも頻繁に出たり、家庭ではほぼ毎日食べられている、ジンバブエ人のエネルギーの源です。



▲ジンバブエの主食サザ

おおが さおり 大岡 沙織さん プロフィール

- ・広島県呉市出身。
- ・長崎の大学で作業療法学について学び、新卒で2016年6月より2年間、青年海外協力隊に参加。ジンバブエの特別支援学校で教員としてボランティア活動を行う。

参加のきっかけ

作業療法士として就職する前に、「もっと世界を見てみたい」「海外で働いてみたい」という思いをどうしても捨てきれず、調べていると青年海外協力隊という選択肢を知りました。不安もありましたが、JICA海外協力隊経験者であった大学の教授と、当時海外に在住していた母が背中を押してくれたことで参加を決めました。

参加して思うこと

新卒で降り立った国ジンバブエ。語学も専門的な技術もままならず、不安でいっぱいでしたが、失敗を繰り返しながらもたくさんのことに挑戦させてもらい、様々なことを経験することができました。以前は遠い場所だと思っていたアフリカも、今では第二の故郷になりました。あのとき思い切った協力隊に参加してよかったと、心から思います。日本から、そして現地で支えてくださった方々には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

「グローバルリレーションズ・プログラム (GRP)」参加者の声

HIC article: Ramin Rayee (Afghanistan)

I am Ramin Rayee a master student at Hiroshima University. I am living in Hiroshima International Plaza (HIP) as Global Relationship Program (GRP) member since April 2017. This program facilitates international students to live in the HIP. GRP provides the best cultural opportunities for its members who are mostly international students and studying at Hiroshima University. We as GRP members have the chance to join the cultural events, present and introduce our cultural aspects for the Japanese and other participants. In the beginnings of my life in Hiroshima, I was feeling stressed and burden and there were many things around me used to stress me, but since joining the GRP program, I could overcome all these obstacles. When it comes to the staff of HIC, they are very friendly and nice. They always keep in touch and motivate us to enjoy and have a fun life in

Hiroshima. GRP holds a monthly meeting to inform us of the upcoming events and let us share our difficulties which we might have in our living place. Furthermore, we have a potluck party at the end of each meeting and can try varieties of foods from different countries.

The accommodation in the HIP is superb. As GRP member you will enjoy from life and feel very convenient. The rooms are big enough with super facilities. There is a study room equipped with desktops, printer, and WIFI, which is really an ideal environment for the study. The music room which you can play the instruments to escape from your daily tiredness and there is a recreational area with a fantastic gym too. Finally, I would like to recommend international students to join this fantastic program and enjoy from their life in Hiroshima.



グローバルリレーションズ・プログラム (GRP) とは?

ひろしま国際プラザに入居して大学に通いながら、国際社会で活躍できる「実践力」を身につけることを目的とした、外国人留学生のためのプログラムです。現在、12ヶ国18人の留学生が参加しています。

そのほか、レジデントアシスタントの日本人学生2名が入居し、彼らを支援しています。

★入居使用料
1泊770円 管理費2,500円/月
月額24,060円～26,370円
(水道光熱費込み)

★現在、今年春からの入居者を募集中です。詳しくは「ひろしま国際プラザ」のHPをご覧ください。

「インターナショナル・カフェ～カンボジア王国編」を開催します！

日時 2019年2月2日(土)14:00～15:30
場所 ひろしま国際センター 交流ホール



今回のインターナショナル・カフェの講師はリー・サルーンさんです。

サルーンさんは広島県出身の奥様と結婚し2010年に来広。広島市内でカンボジア料理店を2012年から2018年まで営む傍ら、カンボジア内戦時の経験から日本の若い世代に平和の大切さを語り継ぐ活動をしています。

今回のイベントではサルーンさんをお迎えして、カンボジアの説明や交流会を予定しています。カンボジアの歴史を通して平和について考えてみませんか？
(内容・提供物は変更の可能性があります)



～インターナショナル・カフェとは?～

異文化理解のためのイベントで、広島に住んでいる外国人や海外経験豊富な講師に自国の文化や風習について紹介してもらいます。イベントではゲームやワークショップ、踊りなどを通して、その国の文化にふれたりお茶菓子を楽しみながら交流をします。



交流部&留学生生活支援センター

〒730-0037
広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6F
TEL.(082)541-3777 FAX.(082)243-2001
E-mail/hic@hiroshima-ic.or.jp

■開館時間

月～金 10:00～19:00 土 9:30～18:00
日・祝日および年末年始(12/28～1/4)はお休みです。



研修部 (ひろしま国際プラザ)

〒739-0046
東広島市鏡山三丁目3-1 ひろしま国際プラザ内
TEL.(082)421-5900 FAX.(082)421-5751
E-mail/hicc@hiroshima-ic.or.jp

■開館時間

(情報センター・図書室・NGO交流室) ※情報センター・図書室は平日
月～土 10:30～19:00※ 12:30～13:30閉館です。臨時
日・祝日および年末年始はお休みです。 にか所する場合は、HPで随時お
知らせします。

